

第1回経営審議会

議事概要

開催日:平成23年6月29日(水) 午後2時00分

場 所:附属図書館4階学習室

出席者:西室陽一理事長、加藤祐三副理事長、椎廣行理事、高田理孝理事、福田誠治理事、渡辺利夫理事
亀田孝夫委員、原護委員、古井明男監事、相川泰総務課長

■理事長挨拶

西室陽一理事長よりあいさつ

議 事

1. 平成22年度都留文科大学事業報告書について

○担当より主に下記の番号項目について説明、審議の結果、提案通り承認。

P7-8【19】【22】【36】【46】

P9-10【90】【101】

P11-12【106】【107】【140】

P13【160】

P14-15【169,170】【176】

P16【183】

*細かい説明についてはP19～P79に記載。

2. 平成22年度都留文科大学決算について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

・収入予算額:2,727,000(単位:千円) 収入決算額:2,617,109(単位:千円)

運営費交付金については、前年度において、平成21年度入学者前期授業料相当分を未収入金として処理をしたため、当年度、授業料等収入として取り扱ったため減。

・支出予算額:2,727,000(単位:千円) 支出決算額:2,440,769(単位:千円)

スキー教室等の参加者数の減少によるもの、新システム移行延期によるもの等により減。

*平成22年度都留文科大学事業報告書・平成22年度都留文科大学決算報告書については、理事会・経営審議会にて承認されたとし都留市へ提出。

3. 監査結果報告について

○担当より説明、古井監事より講評。

【監査結果の概要】

・業務の執行は、適切に行われていると認める。

・財務諸表は、法人の財政状態及び運営状況等を適正に表示しているものと認める。

・業務報告書は、法人の業務運営状況を正しく示しているものと認める。

- ・決算報告書は、予算の区分に従って、決算の状況を正しく示しているものと認める。
- ・理事長、副理事長、理事の業務執行に関しては、不正行為又は法令若しくは定款に違反する事実は認められない。なお、理事長、副理事長、と法人との間には利益相反取引は認められない。
- * 古井監事より: 全国に誇れる公立大学として個性あふれる実績を残し、経営も安定していることが認められる。この時期に将来を見据えた職員体制の増強、新学部設立等の改革が必要と思われる。

4. 学長選考会議委員の選出について

○担当より説明、審議の結果、経営審議会からの学長選考会議委員のメンバーは互選とし投票は行わなかった。

経営審議会: 渡辺理事、原委員、椎事務局長(欠席者がいる場合: 亀田委員)

教育研究審議会: 鶴田初等教育学科長、新保国文学科長、清水学長補佐(次点: 大辻比較文化学科長)

報 告

1. 平成 23 年度都留文科大学年度計画について

○担当より前回の理事会・経営審議会にて報告ができなかった年度計画(258 項目)について報告。

・今年度から教育研究については、教育研究審議会が基本的方向を出し、それに基づき各委員会が活動して検討する方向を考えている。

・FD 研究については、現在、前任者の後任を検討している最中である。

・P15 の項目【144】「教職員の業績評価システムを確立し、給与に反映させる」については、難しい面もあるのでどのように評価をしていくか検討していく必要がある。

この件に関して、渡辺理事より拓殖大学では過去 5 年間の論文等を提出(ブランクがある場合は理由を明記)してもらい、これを評価の対象にしているとの話があった。

2. その他(参考資料について)

1. プロジェクト構想 プロジェクト A～プロジェクト C については、7 月中に中間報告を行う。

2. 教員配置計画に関する原則(抜粋)

3. 学長ブログ

4. 中期計画(数値目標)進捗状況一覧

5. 東日本大震災学生支援策 独自の奨学金や貸付制度にて対応。

* 東北地方学生 437 名のうち、学生 1 名が未だに行方不明。

* 今後の理事会・経営審議会の予定について

2 回目は 9 月下旬で日程調整を行う

3 回目は 11/28、11/29、11/30 で調整を行う

4 回目は 3/12、3/13 で調整を行う